

臨床研究に関するご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去の診療記録（電子カルテなど）に記録されている情報のみを用いて行われるもので、患者様に新たな検査や通院をお願いすることはありません。

ご自身の情報を研究に使うてほしくないと思われる方は、いつでも拒否することができます。その場合でも、今後の診療において不利益を受けることは一切ありません。

1. 研究の名称

食道胃静脈瘤初回内視鏡治療例における臨床的特徴および予後に関する検討
（食道や胃の静脈瘤に対する内視鏡治療後の経過に関する調査研究）

2. なぜこの研究を行うのですか？（研究の目的）

肝硬変になると、食道や胃に静脈瘤（血管のこぶ）ができることがあります。これが破れると大量出血を起こし命に関わることもあるため、早期発見や適切な治療が重要です。

近年、肝硬変の原因は、ウイルス性肝炎だけでなく、飲酒や脂肪肝に関連した病気へと変化してきています。それに伴い、静脈瘤の出血部位や治療後の経過にも変化がある可能性が考えられます。

この研究では、当院で食道や胃の静脈瘤に対する内視鏡治療を受けた患者様について、その後の経過や治療内容を調べ、より安全で適切な診療につなげることを目的としています。

3. どのような人が対象になりますか？

対象となる方：2016年4月から2026年3月までに、当院で食道や胃の静脈瘤に対する内視鏡治療を受けた方

研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2028年6月30日まで

4. どのような情報を使用しますか？

過去の電子カルテの記録から、以下の情報を収集します。

- ・年齢、性別、肝臓の病気の種類などの基本情報
- ・出血の有無や出血した場所
- ・行われた内視鏡治療の内容
- ・血液検査の結果
- ・治療後の通院状況やその後の経過
- ・再出血や死亡の有無、年齢、生年月日、診断名、合併症などの基本情報

5. プライバシーはどのように守られますか？

お名前やカルテ番号などの個人を特定できる情報は、収集時に削除し、代わりに研究用の番号を割り当てて管理します（匿名化）。

データは病院内の専用パソコンに保存し、外部に持ち出すことはありません。また、研究成果を学会や論文で発表する場合も、統計的なデータとして扱うため、患者様個人が特定されることは決してありません。

6. 研究への協力を拒否したい場合は？

この研究にご自身の情報を使用してほしくない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

※既に解析が終了し、研究結果が公表されている場合は、完全に削除できないことがあります。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 消化器内科 長谷部 拓夢 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648